

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

中学生が職業体験「トライやる・ウィーク」を実施

「トライやる・ウィーク」は今年で18年目を迎えました。今年度は市内4中学校の2年生が、6月1日(月)～5日(金)の5日間、市内(一部は市外で実施)の118カ所の事業所にご協力いただき実施します。元気いっぱいの2年生に温かいご声援と応援をお願いします。

トライやる・ウィークは、職業体験などを通して中学生が自分たちの生き方を見つけられるよう「心の教育」として平成10年に始まりました。「トライやる」という言葉には、挑戦するの「TRY」とともに、「学校・家庭・地域の三者」という意味が込められています。

西脇トライやる「オリジナルワッペン」をつけて活動
今年の「トライやるワッペン」は、中山央海途さん(西脇南中学校2年生)のデザイン。2年生の干支である巳と午をモチーフに、西脇南中学校の2年生の皆さんにデザインを考えていただきました。



西脇南中学校2年生
中山央海途さん

地域に活かす「トライやる」アクション
活動場所を募集しています
市内の中学生が地域の皆さんと一緒に、地域の中でさまざまな体験活動ができる場をご提供ください。

▼期間 土・日曜日、または長期休業中
▼対象 中学1～3年生
■問合せ 学校教育課
(市役所内線527)

めぐいこらう 82 自然の恵みを人から人へ 「自然の恵みを人から人へ」



市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全、安心な農産物の生産拡大を進めています。

「めぐいこらう」は、私たちが住む北播磨地域は、別名「巻き寿司街道」と呼ばれており、たくさんのご当地巻き寿司があります。今回は、西脇市のご当地巻き寿司の一つである「黒田庄和牛巻」を紹介いたします。

この和牛巻は、地産地消の取り組みを進めることを目的として、北はりま旬菜館で加工グループ旬菜館が週末だけ

販売している地元黒田庄和牛を使った巻き寿司です。具材は、甘辛く煮詰めた黒田庄和牛とキュウリ、卵、シヨウガ。味付けは、キュウリにさっぱりとマヨネーズを絡めただけと至ってシンプルです。しかし、ほとんどが神戸ビーフに認定される黒田庄和牛だけあって、そのお味は最高です。市外では唯一、神戸元町に

あるアンテナショップ「北播磨おいしんば館」で月曜日のみ売り出されています。そこでも大好評を博しており、即完売の状況です。

このようにご好評いただいている和牛巻ですが、一度にたくさん巻くことができないことと、限られた曜日しか販売できないことが現在の悩みとなっています。

西脇市では今年度、「おもてなし条例」の制定を予定しています。皆さんも旬菜館のお母さんたちがおもてなしの心で巻いた黒田庄和牛巻を一度ご賞味ください。また、その際には、旬菜館の新鮮な野菜もぜひお買い求めください。

西脇市消費生活センター No.117 プリペイドカード詐欺にご注意を!

プリペイドカード詐欺の相談が増加しています。プリペイドカード詐欺とは、業者から料金を請求され、その支払手段としてプリペイドカードの購入を指示されます。プリペイドカードを購入して、カードに記載された番号を業者に伝えることで、カードの代金(価値)をだまし取られるといった手口です。

事例としては、アダルトサイトの料金やエステの料金、化粧品の通信販売等があり、支払方法でプリペイドカードや電子ギフト券の購入を指示してくる場合は詐欺業者の可能性が高く、後になってプリペイドカードの代金をだまし取られたと気付いても、被害回復は大変困難です。業者にプリペイドカード等のカード番号を伝えることは、プリペイドカード自体を業者に譲ることと同じです。トラブルに気付いたときは、購入したことを証明するレシートを用意したうえで、早急に発行会社に連絡してください。詐欺業者はカード番号取得後、すぐに使ってしまうので早めに連絡することが大切です。不安に思うことがあれば、お金を支払う前に消費生活センターに相談してください。

心のスケッチ

76

人権教育室コラム

ワーク・ライフ・バランスを考える

4月に新たな職場でスタートした方、新たに社会人となった方にとって約2カ月が過ぎました。今回は、「働くこと」について考えてみたいと思います。

人権に関する県民意識調査(平成25年度)の中に「働く人の人権について、特に問題があると思うこと」という項目があります。その中の質問の一つ、「ワーク・ライフ・バランスが保てないこと」について、「はい」と答えた人が4割を超えているという結果が出ていました。

「ワーク・ライフ・バランス」この言葉をよく聞くようになってきました。仕事に関する分野で良く取り上げられます。「仕事と生活の調和」と訳すことができます。

先日、ある講演会でこんな話を聞きました。仕事(ワーク)ばかりで、生活(ライフ)が充実していないことによって、新しいアイデアや創造性がうまれてこない。その結果として仕事がマンネリ化して生産性があがらないことがあるという内容でした。

長時間労働による弊害と言ってもいいですね。

OECD(経済協力開発機構)の調査では、2013年の日本人1人当たりの総労働時間は、平均1,748時間で他の先進国より200時間長く、1時間当たりの労働生産性も米国の3分の2程度に当たる4,272円となっています。さまざまな要因があるでしょうが、この数字は仕事のやり方にまだ改善の余地があることを物語っています。例えば、いつも午後9時に帰宅しているお父さんやお母さんが午後7時に帰宅できたなら、その2時間を家事や育児に宛てたり、子どもと学校のことを話し合ったり、将来に向けたスキルアップや情報収集ができたりと充実した時間が過ごせるでしょう。家庭がうまくまわれば、学校や職場、地域にも良い影響が期待できるのではないのでしょうか。

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を社会に関わる誰もが意識したいものですね。

(人権教育室)

市長からの手紙

17

西脇を元気に!!



西脇市長 片山象二

大事にしたい!「基本の反復」

ボクシング元世界2階級チャンピオン・長谷川穂積選手(大木町出身)の復帰戦が、神戸市立中央体育館でありました。多くの市民の方が、20カ月ぶりの見事な勝利に酔いしたことでしょう。厳しい体調のなかで、ご本人にしか分からない大変な苦労があったと思います。まずはゆっくりと体を休めていただきたいと思います。



復帰戦を勝利で飾った長谷川穂積選手(左)



名球会野球教室/左から土井正博さん、柴田勲さん、鈴木啓示さん、福本豊さん

その翌日、プロ野球317勝投手・鈴木啓示さん(野村町出身)のご尽力で名球会野球教室を開催。元ジャイアンツの柴田勲さんが、「野球がうまくなるコツはたった一つ、基本の反復」だと話されました。あらゆるスポーツに通じるこの言葉を、子どもたちに伝えたいと思います。

西脇はスポーツが盛んなまちだと自負しています。国内外で若者や子どもたちが頑張っており、その活躍に明るい未来を感じています。